

いのちに寄り添う2

ともに生きるために

死にたいという思いを抱かざるをえない人たちに私たちは何ができるのか、また、そこで自死にいたった方の遺された近親の人たちに私たちはどんな支援ができるのか。本シンポジウムではPart1に引き続き、遺された人たちとともに生きること、ご自身が死を選ばざるを得ない思いに追い込まれた人たちとともに生きること半生を捧げてきた石倉紘子さんに、じっくりとお話をお聞きします。

日時 2024年
1月28日(日)
14:00~16:00

開催方法 対面および
Zoomによる
オンライン開催

会場 キャンパスプラザ京都
(対面は会場の都合上定員15名までとなります)
〒600-8216 京都市下京区西洞院通塩小路下る東塩小路町939
<アクセス>裏面のアクセスマップをご覧ください。

参加方法 Googleフォームによる事前申込
1/21(日)まで
右記QRコードよりアクセスしてください



講師

自殺対策—未遂者について考える

石倉 紘子氏

未遂者・家族を支える会「くいしんぼカフェ」代表
自死遺族サポートチーム「こころのカフェきょうと」スタッフ
厚生労働大臣指定法人いのちを支える自殺対策推進センター 理事



40歳で家族を自死で失い、その後、自らのためにも、また同じ思いをして悩んでいる人のためにも自死遺族支援を始め、この40年間、日本の自殺予防運動の大きな牽引力となってこられた。2020年以降、自死遺族支援を続けながら、未遂者とともに生きる活動を展開。自殺問題への新たな取り組みをはじめている。

指定討論者

坂田 昌嗣氏

未遂者・家族を支える会「くいしんぼカフェ」スタッフ
自死遺族支援グループ「こころのカフェきょうと」元スタッフ、
臨床心理士・公認心理師・博士(医学)

2004年立ち上げ時の「こころのカフェきょうと」を経た後、そこを原点とし、心理職として精神科医療、学校、地域保健現場でのメンタルヘルス支援に10年携わる。現在は京都大学大学院医学研究科社会健康医学系専攻の助教として公衆衛生的なメンタルヘルス分野の研究と、京都市スクールカウンセラー・京都CBTセンターのカウンセラーとして児童から成人のカウンセリングに従事。2023年5月より「くいしんぼカフェ」のスタッフ。

●座長

濱野 清志氏

(一社)京都府臨床心理士会 会長 / 京都文教大学 教授